彫刻・傾斜彫刻を行う際、タイミングベルト、ステッピングモータ、負荷、データの兼ね合いにより、バック ラッシュが発生します。そのため双方向彫刻を行うと、左右の開始点・終了点が異なるため、加工の仕上がり が適切ではなくなります。

症状としては、2mm 角程度の小さな文字を彫った場合に、左右に二重に重なって彫れたり、ぼやけたりします。 大きな文字、デザインの場合は一見分かりづらいのですが、よく見ると、輪郭部分が深い・浅い、という症状 が出ます。

バックラッシュは出荷時に調整され、設定されていますが、経年変化により、再調整が必要になる場合があり ます。

また、より精度の高いバックラッシュ補正は、彫刻、傾斜彫刻時の加工品質を向上させます。

バックラッシュは、LaserCut6Jのマシン設定ダイアログより設定することにより、補正できます。 本マニュアルは、バックラッシュの設定の方法を説明します。

※ 以下、手順・設定に従ってください。手順・設定が異なると、正しく補正できない場合があります。

## 1. マシン設定のバックラッシュの値を削除する

メニューのマシン設定をクリックして、「マシン設定」ダイアログを表示させ、「彫刻」をクリックします。



#### 「マシン設定」ダイアログが表示されたら、スクロールバーを一番下まで移動させます。

	イシン設定			
עב	ko-∋	^		
コントローラ	MPC6585		ステッピングモータの設定	
E.	標系			
空間の速度	150.000		コントローフの設定	
空間の加速度	1500.000			
開始速度	10.000		ソフトウェアの設定	
空間の加速度 2	20000.000			
コーナー加速度	2000.000			
V	ーザー		機体の設定を取り込む	
IO LAIL	低レベル	<b>T</b>		
レーザー発振周波数	20000		設定のがかっても	
レーザー管	シングルヘッド・アナログ	<b>v</b>	axae009/02/01/11	
最高出力(%)	100.0			
÷	60他			
自動原点	×		設定ファイルの表示	
電源断復帰を有効にする	×			
電源断復帰時の戻り量(mm)	2.0		フカロールバーた	
防水				
エアーOFFの最小距離(mm)	0.0		一畨下まで移動	りさ
フィードの方向	+	-		
フィードの補正	0.0		OK	
出力タイプ	レイヤー毎	V	UK	
曲線の精度	0.30			
円形切断時の速度設定を有効にする			閉じる	
田形和明治市建度設定	設守			

#### 「彫刻設定」の設定をクリックします。

ク胆のから度	1500.000	<u>^</u>	
	1000.000	^	ステッピングモータの設定
開始速度	10.000	_	
空間の加速度2	2000.000		コントローラの設定
コーナー加速度	2000.000	_	
V	-#-		いったウェアの静安
10 LAIL	低レベル	<b>T</b>	271°7170580E
レーザー発振周波数	20000		
レーザー管	シングルヘッド・アナログ	~	
最高出力(%)	100.0		機体の設定を取り込む
	その他		
自動原点	$\checkmark$		設定のなかってもお
電源断復帰を有効にする	×		
電源断復帰時の戻り量(mm)	2.0		
防水			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
エアーOFFの最小距離(mm)	0.0		設定ファイルの表示
フィードの方向	+	<b>v</b>	
フィードの補正	0.0		
出力タイプ	レイヤー毎	<b>T</b>	
曲線の精度	0.30		
円形切断時の速度設定を有効にする			
円形切断時の速度設定	設定		OK
X方向を固定する			UK
周刻設定	設定		
化脉调物温度定	設定		閉じる

## 「設定」をクリックすると、「彫刻設定」ダイアログが表示されます。

			彫刻設定	Ê		
開始速度 0.000 110.000 210.000 310.000 410.000 510.000 610.000 710.000	最高速度 110,000 210,000 310,000 410,000 510,000 610,000 810,000 810,000	加速の長さ 25,000 25,000 25,000 25,000 25,000 25,000 25,000 25,000	彫刻設分 -0.120 -0.170 -0.270 -0.300 -0.250 -0.240 -0.240 -0.240 -0.240	定 X軸の開始速度 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000	X庫曲(D): へ 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0	<u>追加</u> 削除 編集
810.000 910.000 <	910.000 1010.000	25.000 25.000	-0.240	45.000 45.000	6000.0 6000.0 ¥	
,		OK		キャンセル		

※ 彫刻設定の表示内容は機種、機体により異なりますので、上図とは異なる場合があります。

次に、「とりあえず」全ての設定を削除します。1行ずつクリックして選択し、「削除」ボタンを押下して消していきます。





			/			
開始速度	最高速度	加速の長さ	バックラッシュ	X軸の開始速度	×車曲の力口逆	追加
					[	「削除」
						編集
,			_			
•			2.00		-	

全ての行を削除したら、「追加ボタン」をクリックします。

「追加」ボタンをクリックします	
彫刻設定	x
	7
「開始速度」策高速度」加速の長さ「ハックフッシュ」X軸の開始速度」X軸の加速 追加	)
肖·耶余	
0K 47701	

「彫刻設定の編集」ダイアログが表示されます。

彫刻設定	の編集	×
開始速度 0.000	最高速度	0.000
加速の長さ 10.000	バックラッシュ	0.00
×軸の開始速度 10.00	×軸の加速度	1000.00
Y軸速度 50.00	Y軸の加速度	500.00
オフセット × 0.00	オフセット Y	0.00
OK	キャンセル	

「彫刻設定の編集」ダイアログは、下表のように入力して下さい。

項目	設定値
開始速度	0
最高速度	110
加速の長さ	25
バックラッシュ	0.00(設定せず)
X 軸の開始速度	45
X軸の加速度	6000
Y軸速度	30
Y軸の加速度	1000
オフセットX	0.00(設定せず)
オフセット Y	0.00(設定せず)

左表は、RS シリーズの標準設定値です。

設定値をカスタマイズしている場合は、 その設定値を入力して下さい。

彫刻設定	Eの編集 ×
開始速度 0.000	最高速度 110
加速の長さ 25	バックラッシュ 0.00
×軸の開始速度 45	×軸の加速度 6000
Y軸速度 30	Y軸の加速度 1000
オフセット X 0.00	オフセット Y 0.00
ОК	キャンセル

入力したら「OK」ボタンをクリックします。

彫刻設定	Eの編集 ×
開始速度 0.000	最高速度 110
加速の長さ 25	バックラッシュ 0.00
×軸の開始速度 45	X軸の加速度 6000
Y軸速度 30	Y軸の加速度 1000
オフセット × 0.00	オフセット Y 0.00
ОК	キャンセル

「彫刻設定」ダイアログが表示され、入力した設定値が表示されます。

			彫刻設)	定		×
開始速度 0.000	最高速度 110.000	<u>加速の長さ</u> 25.000	<u>  バックラッシュ</u> 0.000	X車の開始速度 45.000	<u>×車曲の力口送</u> 6000.000	<u>追加</u> 削除 編集
<					>	
		OK		キャンセル		

再度「追加」ボタンをクリックして、設定値を繰り返し入力しています。 「開始速度」と「最高速度」の設定は、下表のように変更して、合計 12 の設定を追加します。

← 追加済み

	開始速度	最高速度
1	0	110
2	110	210
3	210	310
4	310	410
5	410	510
6	510	610
7	610	710
8	710	810
9	810	910
10	910	1010
11	1010	1110
12	1110	2000

			彫刻設知	Ē		
目目も公志度	且文法府	tochaの目さ	( Roberts -		Value:	
1第1967年1月 0.000	取同述度 110.000	25.000	0.000	へ単部の「第19日2本」度 45.000	6000.0	追加
110.000 210.000	210.000 310.000	25.000 25.000	0.000 0.000	45.000 45.000	6000.0 6000.0	TURA
310.000 410.000	410.000 510.000	25.000 25.000	0.000 0.000	45.000 45.000	6000.0 6000.0	
510.000 610.000	610.000 710.000	25.000 25.000	0.000 0.000	45.000 45.000	6000.0 6000.0	編集
710.000 810.000	810.000 910.000	25.000 25.000	0.000	45.000 45.000	6000.0 6000.0	
910.000	1010.000	25.000	0.000	45.000	6000.0 ~	
		OK	-	Jan S. Laut	1	
		OK		キャンセル		

12回追加したら、「OK」ボタンをクリックします。

			彫刻設	定		2
開始速度	最高速度	加速の長さ	<u>  バックラッシュ</u>	X軸の開始速度	×車曲の; へ	追加
0.000	110.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
110.000	210.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
210.000	310.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
310.000	410.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
410.000	510.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
510.000	610.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
610.000	710.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
710.000	810.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
910.000 <	1010.000	25.000 25.000 OK	0.000	45.000 45.000 キャンセル	6000.0 ¥	

「マシン設定」ダイアログの「OK」をクリックします。「OK」ボタンをクリックしないかぎり、設定は更新され ません。

空間の加速度	1500.000	^	3 10 KT
開始速度	10.000	_	ステッピンクモータの言葉ス
空間の加速度 2	20000.000	_	
コーナー加速度	2000.000		コントローフの設定
V	- <b></b> #-		
IO レベル	低レベル	-	ソフトウェアの設定
レーザー発振周波数	20000		
レーザー管	シングルヘッド・アナログ	-	
最高出力(%)	100.0		機体の設定を取り込む
自動原点	$\checkmark$		設定のダウンロード
電源断復帰を有効にする	$\checkmark$		
電源断復帰時の戻り量(mm)	2.0		
防水			
エアーOFFの最小距離(mm)	0.0		設定ファイルの表示
フィードの方向	+	-	
フィードの補正	0.0		
出力タイプ	レイヤー毎	-	
曲線の精度	0.30		
円形切断時の速度設定を有効にする			
円形切断時の速度設定	設定		OK
X方向を固定する			UK VK
周刻設定	設定		
傾斜周漆	設定		閉じる

「セキュリティチェック」ダイアログが表示されるので「OK」をクリックしください。

パス	ワード  *	▼ 保	持する
這生	1 OK	think	711.

3. LaserCut6.1J で彫刻データを作成します。

データは下記のように作成してください。10mm角の正方形です。







「サイズの変更」ダイアログが表示されるので、「新しい X 方向の長さ」および「新しい Y 方向の長さ」をそれ ぞれ 10 [mm] に設定します。

サイズ	の変更 ×
現在のX方向の長さ 35.7472 現在のY方向の長さ 34.6640	新しいのX方向の長さ 10 新しいのY方向の長さ 10
□ 縦横比保持	OK キャンセル

設定したらOKをクリックして下さい。

次に彫刻設定を行います。モードを「彫刻」に変更して下さい。



続いて彫刻設定を行います。カラー帯をダブルクリックして、「彫刻の設定」ダイアログを表示させます。

## ダブルクリックする

レイヤー 加工モード	加工	スピード	出力	
[ [ ] 刻刻	<b>V</b>	300.00	22.00	

	加工設定
- 加工モード 加工モード 「「「「「「「「「」」 C 切 ■「家」設定	断で彫刻の彫刻の時のホールの傾斜彫刻
彫刻速度 100 レーザー出力 1 30	▼ 双方向彫刻 レーザー出力 2 100.00
<b>走査間隔</b> 「 Oを入れる 半径 2000	<b>彫刻方向 下→上 ▼</b> 「 ○を間刻する 間隔 2.000
□ 導光板	□ <b>円弧修刻</b> 円弧半径 100.000
加工回数 1 レイヤーオ	7セット X 0.000 Y 0.000 OK キャンセル

設定を下記のようにします。

彫刻速度 100

レーザー出力 1 素材に合わせて調整して下さい。

彫刻がはっきりわかる程度の出力に調整して下さい。ただし加工素材によっては出力が強すぎると余分に延焼、 溶解してしまうので、必要以上に強すぎる設定は避けて下さい。

走査間隔

1 チェックを入れる 双方向彫刻

彫刻方向 下→上

#### 即時原点のチェックを入れて下さい。



これでデータの作成は終わりです。

## 4. 設定のダウンロードを行う

制御用パソコンとレーザー加工機が USB ケーブルまたは LAN ケーブルで接続されている状態で LaserCut6J の 「ダウンロード」ボタンをクリックします。



「ダウンロードマネージャ」ダイアログが表示されるので「設定のダウンロード」をクリックして下さい。

		ダウンロード マネージャ	×
No.	データ名	サイズ	
1	LASER2.EOL	11776	
2	AAA.EOL	909312	
3	LANTEST.EOL	2560	
4	LASER.EOL	2560	
Encho Ha			
設定のタ		テーダのダウンロード	ファイルのタワンロード
削除	全削	除   設定エクス	ポート データエクスポート

設定のダウンロードが成功するとレーザー加工機よりブザー音が鳴ります。レーザー加工機の操作パネルが Z 軸操作モードの場合や、メニュー画面の場合は、ブザー音は鳴らず、設定のダウンロードは無効になりますの で注意して下さい。

## 5. データの計算を行う

「計算」ボタンをクリックして下さい。



### 6. データのダウンロードを行う。

制御用パソコンとレーザー加工機が USB ケーブルまたは LAN ケーブルで接続されている状態で LaserCut6J の 「ダウンロード」ボタンをクリックします。



「ダウンロードマネージャ」ダイアログが表示されるので「データのダウンロード」をクリックして下さい。

		ダウンロード マネージャ		×
No. 1 2	データ名 LASER2EOL AAA.EOL LANTEST FOL	サイズ 11776 909312 2550		-
4	LASER.EOL	2560		
B;	登定のダウンロード	データのダウンロード 削除 設定エクス	ファイルのダウンロード ポート データエクスポート	

「ダウンロード データ」ダイアログが表示されるので、必要に応じて、データ名を変更し、「OK」をクリック します。

ダウンロード データ	×
データ名: Laser	
データ サイズ: 926.208Kb	
空き容量 127073.792Kb	
OK キャンセル	

レーザー加工機の操作パネルが Z 軸操作モードの場合や、メニュー画面の場合は、ブザー音は鳴らず、データのダウンロードは無効になりますので注意して下さい。

## 7. 加工を行い、ズレを確認する

加工を行います。

彫刻した素材の彫刻した端面を確認し、奇数行と偶数行の際を調べます。



まず開始線のズレ方向を確認します。開始線は、一番下の線です。上図例では、開始線は、二番目の線(ひとつ 上)と比較して、右寄りになっています。これはマイナス方向にずれていますので、バックラッシュ補正値はプ ラスの値にします。

dの値を測定します。仮にdの値が、0.5mm だった場合は、バックラッシュ補正値は「0.5」になります。 逆に、開始線が二番面の線よりも左寄りだった場合は、バックラッシュ補正値は「-0.5」になります。

#### 8. マシン設定のバックラッシュの値を設定する

メニューのマシン設定をクリックして、「マシン設定」ダイアログを表示させ、「彫刻」をクリックします。



「マシン設定」ダイアログの彫刻をクリックした後、行をクリックして選択状態します。そして「編集」ボタン をクリックして、「彫刻設定」ダイアログを表示させます。

	マシン設定		×
יר	kn-5	^	
עב ק-טאעב	MPC6585		ステッピングモータの設定
E E E	4標系		
空間の速度	150.000		コントローラの設定
空間の加速度	1500.000		
開始速度	10.000		ソフトウェアの設定
空間の加速度 2	20000.000		
コーナー加速度	2000.000		
l	- <b></b> #-		機体の設定を取り込む
10 レベル	低レベル	<b>T</b>	
レーザー発振周波数	20000		設定のだかいロード
レーザー管	シングルヘッド・アナログ	<b>v</b>	axie009/921-11
最高出力(%)	100.0		
ī	Eの他		
自動原点	$\checkmark$		設定ファイルの表示
電源断復帰を有効にする	$\checkmark$		
電源断復帰時の戻り量(mm)	2.0		フカロールバーた
防水		<b>.</b>	ハノロールハーゼ
エアーOFFの最小距離(mm)	0.0		一畨下まご移動
フィードの方向	+	-	
フィードの補正	0.0		or
出力タイプ	レイヤー毎	-	
曲線の精度	0.30		
円形切断時の速度設定を有効にする			閉じる
田形和新学业学校	設守	~	

「マシン設定」ダイアログが表示されたら、スクロールバーを一番下まで移動させます。

「彫刻設定」の設定をクリックします。

空間の加速度	1500.000	^	
開始速度	10.000		ステッピンクモータの設定
空間の加速度 2	20000.000		
コーナー加速度	2000.000		コントローフの設定
l	·-ザ-		
10 レベル	低レベル	-	ソフトウェアの設定
レーザー発振周波数	20000		
レーザー管	シングルヘッド・アナログ	-	
最高出力(%)	100.0		機体の設定を取り込め
	その他		
自動原点	$\checkmark$		設定のダウンロード
電源断復帰を有効にする			
電源断復帰時の戻り量(mm)	2.0		
防水			
エアーOFFの最小距離(mm)	0.0		設定ファイルの表示
フィードの方向	+	-	
フィードの補正	0.0		
出力タイプ	レイヤー毎	<b>V</b>	
曲線の精度	0.30		
円形切断時の速度設定を有効にする			
円形切断時の速度設定	設定		OK
X方向を固定する			
間刻設定	設定		
傾斜周刻一般定	設定		閉じる

「設定」をクリックすると、「彫刻設定」ダイアログが表示されます。

			彫刻設定	定		
開始速度	最高速度	加速の長さ	バックラッシュ	X軸の開始速度	X軸の; 🔺	
0.000	110.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	追加
110.000	210.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
210.000	310.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	11.124
310.000	410.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	削除
410.000	510.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
510.000	610.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
610.000	710.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	編集
710.000	810.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
810.000	910.000	25.000	0.000	45.000	6000.0	
910.000	1010.000	25.000	0.000	45.000	6000.0 💙	
<					>	
		OK		الاصليد لأسرعط	1	
		UK		キャンセル		

今回は彫刻速度の設定が「100」だったので、「開始速度:0.000 最高速度:110.000」の行をクリックして選択 状態にし、「編集」ボタンをクリックします。

① クリックして選択状態にする

開始速度						
0.000	最高速度	加速の長さ 25 000	バックラッシュ	X軸の開始速度	×車曲の; へ	追加
110.000 210.000 310.000 410.000 510.000 610.000 710.000 810.000	210.000 310.000 410.000 510.000 610.000 710.000 810.000 910.000	25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000	0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000	45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000	0000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0	削除
910.000	1010.000	25.000 OK	0.000	45.000 キャンセル	6008:0 ~ >	

② クリックする

彫刻設定	Eの編集 ×
開始速度 0.000	最高速度 110
 加速の長さ 25	バックラッシュ 0.00
×軸の開始速度 45	×軸の加速度 6000
Y軸速度 30	Y軸の加速度 1000
オフセット X 0.00	オフセット Y 0.00
ОК	キャンセル

前記「7. 加工を行い、ズレを確認する」で得たバックラッシュ補正値を入力します。

# バックラッシュ補正値を入力する、

	彫刻設定の編集	$\setminus$	×
		<u> </u>	
開始速度「	0.000	最高速度	NO
加速の長さ	25	バックラッシュ	0.00
X軸の開始速度「	45	X軸の加速度	6000
Y軸速度	30	Y軸の加速度	1000
オフセット X [1	0.00	オフセット Y	0.00
ОК		キャンセル	

設定したらOK をクリックして下さい。

「彫刻設定」ダイアログの「OK」をクリックします。

			彫刻設:	定		
開始速度 0.000 110.000 210.000 310.000 410.000 510.000 610.000 810.000 910.000	最高速度 110.000 210.000 310.000 410.000 510.000 610.000 710.000 810.000 910.000 1010.000	<u>加速の長さ</u> 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000 25.000	-0.120 -0.120 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000	×車の開始速度 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000 45.000	×車曲の; へ 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0 6000.0	追加 削除 編集
<					>	
		ОК	$\geq$	キャンセル		

「マシン設定」ダイアログの「OK」をクリックします。「OK」ボタンをクリックしないかぎり、設定は更新され ません。

空間の加速度	1500.000	^	ステッピングモータの言語で
開始速度	10.000		
空間の加速度 2	20000.000		コントロッラの設定
コーナー加速度	2000.000		JUPU - DOIERE
IO レベル	低レベル	-	ソフトワェアの設定
レーザー発振周波数	20000		
レーザー管	シングルヘッド・アナログ	-	
最高出力(%)	100.0		機体の設定を取り込ま
	の他		
自動原点			設定のがかいのより
電源断復帰を有効にする			EXAEVOXYD U TY
電源断復帰時の戻り量(mm)	2.0		
防水			
エアーOFFの最小距離(mm)	0.0		設定ファイルの表示
フィードの方向	+	-	
フィードの補正	0.0		
出力タイプ	レイヤー毎	-	
曲線の精度	0.30		
円形切断時の速度設定を有効にする			
円形切断時の速度設定	設定		01
X方向を固定する			OK
彫刻設定	設定		
傾斜周刻殿定	設定		閉じる

「セキュリティチェック」ダイアログが表示されるので「OK」をクリックしください。

セキュリラ	ティチェック
パスワード: 🔭	▶ 保持する
編集 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	) キャンセル

9. バックラッシュの確認

実際に加工を行い、バックラッシュの値の確認を行ってください。ズレがある場合は、再度補正を行う必要が あります。

マシン設定の「彫刻」バックラッシュの設定を変更する際は、必ずその都度、「4.設定のダウンロードを行う」 「5. データの計算を行う」「6. データのダウンロードを行う」を実施する必要があります。

バックラッシュが補正されるまで、必要に応じて、何度も行ってください。

## 10. 各速度設定でのバックラッシュ補正を行う。

前記 3~9を繰り返し行い、それぞれの速度設定でのバックラッシュ補正値を設定します。

マシン設定「彫刻」の設定			「彫刻の訳ウ」の彫刻演奏
行(上から)	開始速度	最高速度	「彫刻の設定」の彫刻述度
1	0	110	100
2	110	210	200
3	210	310	300
4	310	410	400
5	410	510	500
6	510	610	600
7	610	710	700
8	710	810	800
9	810	910	900
10	910	1010	1000
11	1010	1110	1100
12	1110	2000	1200

ダブルクリックする



機体により、バックラッシュ補正値は、上図とは異なります。

12 傾斜彫刻の設定を行う。

彫刻のバックラッシュの設定が終わったら、「傾斜彫刻」の設定を行います。

空間の加速度	1500.000	^	
開始速度	10.000		人ナッピンクモータの言葉ス
空間の加速度 2	20000.000		
コーナー加速度	2000.000		コントローラの設定
ι	ーザー		
10 レベル	低レベル	<b>T</b>	ソフトウェアの設定
レーザー発振周波数	20000		
レーザー管	シングルヘッド・アナログ	-	
最高出力(%)	100.0		機体の設定を取り込む
;	Eの他		
自動原点			設定のダウンロード
電源断復帰を有効にする	Image: A start of the start		
電源断復帰時の戻り量(mm)	2.0		
防水			
エアーOFFの最小距離(mm)	0.0		設定ファイルの表示
フィードの方向	+	-	
フィードの補正	0.0		
出力タイプ	レイヤー毎	-	
曲線の精度	0.30		
円形切断時の速度設定を有効にする			
円形切断時の速度設定	設定		OK
X方向を固定する			UK
周刻設定	設定		
傾斜周刻設定	設定		閉じる

「傾斜彫刻」の「彫刻設定」の内容は、「彫刻」で設定した値とすべて同一にします。 バックラッシュ以外の値も同一にして下さい。

			彫刻設)	定		
明心声度	具立法府	turiaの目さ	18ab=asta			
	110.000	25.000	-0.120	45.000	6000.0 6000.0	追加
210.000	310.000 410.000	25.000	-0.270	45.000 45.000 45.000	6000.0 6000.0	削除
410.000	510.000 610.000	25.000	-0.250	45.000 45.000	6000.0 6000.0	
610.000 710.000	710.000 810.000	25.000 25.000	-0.240	45.000 45.000	6000.0 6000.0	編集
810.000 910.000	910.000 1010.000	25.000 25.000	-0.240 -0.240	45.000 45.000	6000.0 6000.0 ¥	
<					>	
		OK		キャンセル		

## 13. 最も有効なバックラッシュ対策

最も確実な方法は、双方向彫刻を OFF にすることです。しかしこの場合、加工時間は、双方向彫刻が ON の場合 に比べて約2倍になるため、生産性は低下します。

「双方向彫刻」の	のチェックを外す \
- 加工モード 加工モード 「「「「「「「「「」」」 「「「」」 「」 「」 「」 「」 「	<ul> <li>加工設定</li> <li>● 彫刻</li> <li>● ■ ■</li> <li>● ■</li></ul>
■家J速度 300.00 レーザー出力 1 22.00 走査間隔 0.0250 □ Oを入れる 「 半径 2.000	<ul> <li>         び方同彫刻         レーザー出力 2 100.00     </li> <li>         彫刻方向         下→上         ● ○を彫刻する     </li> <li>         間隔 2.000</li> </ul>
□ 導光板 「 	円弧間刻 円弧単径 100.000 X 0.000 Y 0.000 OK キャンセル